

平成21年度 一般会計予算

58億6,200万円

(前年度比・0.29% 1,700万円増)

特別会計

会計名	平成21年度予算額	平成20年度予算額	前年比(%)
国民健康保険	10億8,500万円	9億8,400万円	増 10.3
老人保健	1,271万円	6,097万円	減 79.2
後期高齢者医療	7,376万3千円	9,570万5千円	減 22.9
介護保険	6億9,777万円	6億4,650万2千円	増 7.9
下水道	10億9,159万円	10億3,240万9千円	増 5.7

企業会計

会計名	平成21年度予算額	平成20年度予算額	前年比(%)	
水道事業	収益的収入	3億8,888万円	4億 404万6千円	減 3.7
	収益的支出	3億8,421万5千円	3億8,056万9千円	増 1.0
	資本的収入	270万1千円	3,246万2千円	減 91.7
	資本的支出	1億7,798万3千円	2億 995万7千円	減 15.2
病院事業	収益的収入	1億1,027万9千円	1億2,754万1千円	減 13.5
	収益的支出	1億7,658万円	1億8,735万4千円	減 5.8
	資本的収入	1億1,008万2千円	1億 986万4千円	増 0.2
	資本的支出	1億1,958万2千円	1億5,986万4千円	減 25.2

平成21年度一般会計当初予算審査特別委員会報告

委員長 田村正幸

合は13%。

①：ロープウェーの新年度修理の内訳は。

②：アルプの里の道路補修、ボブスレーコースの地面との設置点の隙間解消工事(3カ年工事)、エーデルワイスの地下天井排水管の取替え、自動ドア7箇所修理が対象になっている。

③：町有地貸付補償料、岩原スキー場問題の話し合いの状況は。

④：岩原管理委員会での正式会議が2年間で1回開催、なかなか進んでいない。

⑤：**監査委員**：19年度定期監査で当時の総務課長に困難な案件ではあるが、好ましい状態でないことからきちっとして欲しい旨伝えてある。

⑥：臨時職員を含め職員の適正化に努めて欲しい。

⑦：職員数は4月現在160名、今年には154名と定員適正化計画に基づいて努めている。

⑧：臨時職員についても、レポート、国体、資料館など削減できるところは進める。また、自分たちでできるところはしていきたい。

⑨：湯沢ふるさと基金の寄付増対策を行っているか。

⑩：湯沢ぐらしの中のPR、新潟県人会を通じた結果、395万6千円となった。

■**地域整備課 一般会計**
⑪：三俣まちなみ環境整備事業等調査測量設計事業の事業費内訳と補助事業は何か。

⑫：まちなみ環境整備事業が500万円の内250万円が補助事業、道の駅の調査設計が500万円。

⑬：排水の処理について、特定環境公共下水道とも合併処理槽など話が出ているが、地域と話はどうなっているのか。

⑭：前町長が特環事業で行うと表明している。三俣振興対策の清津川護岸整備と河川区域の問題から終末処理場の位置など内部で議論したが費用的に再考せざるを得ない。しかし、地域感情から事業はこれ以上先延ばしできないことから、早期に着手できる事業から検討実施すべきだ。合併処理方式も視野に入れて比較検討し、整備方法の比較検討は内部では終わっている。3月中には町の方針を決め新年度に入り、協議会に説明し地域の理解を得たいと考えている。

⑮：除雪対策費は毎年天候に左右されるが、予算はどのように組立てたか。

⑯：需用費の修繕、電気料は例年変わらないが、歩車道除雪委託費が天候に左右される。待機料は今年の実績から考慮しなかった。

⑰：レジャープールの改修内容は。

⑱：西側の外壁窓に雨など入らぬようコーキング工事を予定している。

■**地域整備課 下水道特別会計**
⑲：処理場の大規模改修が始まるなか、浅貝地区の水洗